

2019年(令和元年) 6月5日(水曜日)

下野新聞

「はばたく中小企業300社」

本県から6社選定

中小企業庁は4日、需要の取り込みなどで活躍している企業事例「はばたく中小企業・小規模事業者300社」(2019年)を公表した。本県企業から6社が選ばれた。16年から始まった選定で、本県企業は19社になった。

選定されたのは、需要獲得分野で足利フラワーリゾート(足利市)、担い手確保分野で青木製作所(真岡市)、生産性向上分野でシオダ(那須烏山市)、日冷工業(栃木市)、東京オート、協栄産業(小山市)。足利フラワーリゾート

は、350本を超えるフジや冬のイルミネーションで年間150万人超を誘客する。

治工具の切削加工を主力とする青木製作所は、学生のビジネスプランコンテストを主催し、起業家の育成を支援している。

歯科用ブライヤーなど製造のシオダは、鍛造から最新設備による一貫生産で高精度、高機能化にこぎ進める。日冷工業は高いパイプ加工

工技術で家電や自動車の部品を手掛け、IoT(モノのインターネット)化による効率的な多品種少量生産に挑む。

新車・中古車販売の東京オートは自社開発の基幹業務システムにより、顧客満足度を高める。

廃ペットボトルをペットボトルに再生する協栄産業は世界初の技術を開発し、二酸化炭素排出量を大幅に削減した。(伊藤一之)